

## 眼科学講座

## Ophthalmology

教授	林 篤志	Atsushi Hayashi
講師	柳沢秀一郎	Shuichiro Yanagisawa
講師	東條 直貴	Naoki Tojo
講師	柚木 達也	Tatsuya Yunoki
助教	上田 朋子	Tomoko Ueda
助教	宮腰 晃央	Akio Miyakoshi
助教	藤田 和也	Kazuya Fujita
助教	中村 友子	Tomoko Nakamura
技術職員	林 由美子	Yumiko Hayashi

## ◆ 著 書

- 1) 柚木達也. 外眼部手術におけるバイポーラの使い方. 眼科手術. 2016 ; 29(3) : 451-2.

## ◆ 原 著

- 1) Tojo N, Hayashi A, Otsuka M, Miyakoshi A. Fluctuations of the Intraocular Pressure in Pseudoexfoliation Syndrome and Normal Eyes Measured by a Contact Lens Sensor. *J Glaucoma*. 2016 May; 25(5): 463-8.
- 2) Yunoki T, Tabuchi Y, Hayashi A, Kondo T. Gene network analysis of genes involved in enhancement of hyperthermia sensitivity by knockdown of BAG3 in human oral squamous cell carcinoma cells. *Int J Mol Med*. 2016 Jul; 38(1): 236-42.
- 3) Tabuchi Y, Uchiyama H, Zhao QL, Yunoki T, Andocs G, Nojima N, Takeda K, Ishikawa K, Hori M, Kondo T. Effects of nitrogen on the apoptosis of and changes in gene expression in human lymphoma U937 cells exposed to argon-based cold atmospheric pressure plasma. *Int J Mol Med*. 2016 Jun; 37(6): 1706-14.
- 4) Tojo N, Abe S, Miyakoshi M, Hayashi A. Correlation between short-term and long-term intraocular pressure fluctuation in glaucoma patients. *Clin Ophthalmol*. 2016 Sep 2; 10: 1713-7.
- 5) Nakamura T, Ueda-Consolvo T, Oiwake T, Hayashi A. Correlation between outer retinal layer thickness and cone density in patients with resolved central serous chorioretinopathy. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol*. 2016 Dec; 254(12): 2347-54.
- 6) 石田聖朗, 大塚光哉, 阿部慎也, 東條直貴, 林 篤志. 網膜中心静脈閉塞症に対する tPA 網膜静脈内注入術の手術成績. *臨床眼科*. 2016 Apr 15 ; 70(4) : 499-503.
- 7) 東條直貴. トラベクトームの手術手順と術後成績. *眼科手術*. 2016 Oct ; 29(4) : 551-5.
- 8) 藤田和也, 三原美晴, 掛上 謙, 石田聖朗, 田村了以, 林 篤志. 視線追跡装置を用いた甲状腺機能亢進症の衝動性眼球運動速度の検討. *眼科臨床紀要*. 2016 ; 9(2) : 136-40.
- 9) 矢合隆昭, 石田聖朗, 中村友子, コンソルボ上田朋子, 柳沢秀一郎, 林 篤志. Inverted ILM flap technique を用いた黄斑円孔の手術成績. *臨床眼科*. 2016 ; 70 : 1281-6.
- 10) 阿部慎也, コンソルボ上田朋子, 石田聖朗, 中村友子, 中川拓也, 水島 健, 林 篤志. 網膜中心静脈閉塞症に対する抗 VEGF 薬療法中網膜血管酸素飽和度の変化. *眼科臨床紀要*. 2016 ; 9(9) : 756-60.
- 11) 林由美子, 林 颯代, 奥村詠里香, 中川拓也, 掛上 謙, 追分俊彦, 淵澤千春, 林 篤志. 富山大学附属病院眼科におけるビジョンaid外来の現状. *日視能訓練士協誌*. 2016 Dec ; 45 : 285-91.

## ◆ 症例報告

- 1) Yunoki T, Nakamura Y, Fuchizawa C, Hayashi A. Reconstructive Surgery of the Upper Eyelid Using the Residual Tarsus after Excision of Sebaceous Gland Carcinoma. *Ophthalmology*. 2016 Jul; 308-14.
- 2) 林 颯代, 追分俊彦, 奥村詠里香, 掛上 謙, 中川拓也, 林由美子, 三原美晴. 黄斑偏位を伴う大角度の外科視に対し斜視手術を施行した一例. *日視能訓練士協誌*. 2016 Dec ; 45 : 109-12.

## ◆ 学会報告

- 1) Hayashi A. Retinal oximetry of CRVO after surgical interventions. *Glasgow Oximetry Workshop Program*; 2016 Jan 7-8;

Glasgow.

- 2) Hayashi A, Abe S, Miyakoshi M, Nakagawa T. Correlation of parameters of laser speckle flowgraphy and retinal oximeter in healthy subjects. ARVO 2016 Annual meeting; 2016 May 1-5; Seattle.
- 3) Mihara M, Kakeue K, Fujita K, Tamura R, Hayashi A. Quantification of fixation stability of upward gaze in myasthenia gravis by using an eye-tracking system. ARVO 2016 Annual meeting; 2016 May 1-5; Seattle.
- 4) 林 篤志. 黄斑疾患外科治療の最近の話題. 第 260 回長野県眼科医会集談会; 2016 Mar 13; 松本.
- 5) 中村友子, 矢合隆明, コンソルボ上田朋子, 柳沢秀一郎, 林 篤志. 抗 VEGF 療法中の心血管イベントの発症に関する検討. 第 337 回金沢眼科集談会; 2016 Apr 3; 金沢.
- 6) 林 篤志. 網膜中心静脈閉塞症に対する網膜血管内治療の成績. 第 120 回日本眼科学会総会; 2016 Apr 7-10; 仙台.
- 7) 東條直貴. コンタクトレンズセンサーを用いた持続的眼圧測定変動測定による新知見. 第 120 回日本眼科学会総会; 2016 Apr 7-10; 仙台.
- 8) 東條直貴, 阿部慎也, 宮越茉莉, 林 篤志. 緑内障視野障害の進行速度と短期及び長期の眼圧変動の相関. 第 120 回日本眼科学会総会; 2016 Apr 7-10; 仙台.
- 9) 山根 真, 栗山晶治, 小堀 朗, 林 篤志, 柳沢秀一郎, 櫻井寿也, 今井尚徳, 門之園一明. 黄斑円孔網膜剥離に対する内境界膜剥離と内境界膜翻転法による治療成績の比較. 第 120 回日本眼科学会総会; 2016 Apr 7-10; 仙台.
- 10) 柚木達也, 淵澤千春, 村上 純, 今川幸宏, 林 篤志. 急激な皮下血腫を初発とした涙腺部 Burkitt リンパ腫の 1 例. 第 120 回日本眼科学会総会; 2016 Apr 7-10; 仙台.
- 11) 中村友子, 迫分俊彦, 林 篤志. 中心性漿液性網脈絡膜症の黄斑部錐体密度と網膜外層厚の経時的観察. 第 120 回日本眼科学会総会; 2016 Apr 7-10; 仙台.
- 12) 柚木達也, 中村泰久, 淵澤千春, 林 篤志. 眼縁に局限した脂腺癌切除後に残った結膜瞼板を前転して眼瞼を再建した一例. 第 74 回富山眼科集談会; 2016 May 22; 富山.
- 13) 畑 恵里, 東條直貴, 阿部慎也, 宮越茉莉, 矢合隆昭, 林 篤志. Ad interno trabeculectomy の手術成績と術後成績に影響する因子の検討. 第 74 回富山眼科集談会; 2016 May 22; 富山.
- 14) 入江真理, 林 篤志. 富山県アイバンクにおける 2015 年度献眼実績報告. 第 74 回富山眼科集談会; 2016 May 22; 富山.
- 15) 藤田和也, 三原美晴, 掛上 謙, 田村了以, 林 篤志. 視線追跡装置を用いた外斜視患者の衝動性眼球運動速度の測定. 第 72 回日本弱視斜視学会総会, 第 41 回日本小児眼科学会総会; 2016 Jun 24-25; 横浜.
- 16) 小西幸恵, 入江真理, 林 篤志. 富山大学附属病院における献眼に関する意思の有無を伺うシステム導入報告と今後の展望. 第 15 回日本組織移植学会, 学術集会; 2016 Aug 27; 富山.
- 17) 矢合隆昭, 中村友子, コンソルボ上田朋子, 柳沢秀一郎, 林 篤志. 近視性脈絡膜新生血管に対する抗 VEGF 療法前後の OCTA 所見. 第 63 回福井県眼科集談会; 2016 Sep 3; 福井.
- 18) 東條直貴, 阿部慎也, 宮越茉莉, 矢合隆昭, 林 篤志. 落屑緑内障に対するトラバクトーム前後での眼圧日内変動の変化. 第 27 回日本緑内障学会; 2016 Sep 17-19; 横浜.
- 19) 柚木達也, 林 篤志. 切除不能涙腺原発脂腺癌に対する S-1 併用放射線療法の一例. 第 34 回日本眼腫瘍学会; 2016 Oct 1-2; 神戸.
- 20) 畑 恵里, 東條直貴, 阿部慎也, 宮越茉莉, 矢合隆昭, 林 篤志. Ab interno trabeculectomy の手術成績と術後成績に影響する因子の検討. 第 70 回日本臨床眼科学会; 2016 Nov 3; 京都.
- 21) 宮越茉莉, 迫分俊彦, 中村友子, 矢合隆昭, コンソルボ上田朋子, 柳沢秀一郎, 林 篤志. 滲出型加齢黄斑変性における OCT 上の黄斑部面積と視力の関係. 第 70 回日本臨床眼科学会; 2016 Nov 3-6; 京都.
- 22) 藤田和也, 三原美晴, 掛上 謙, 林 篤志. Spot vision screener と RT-7000 の屈折検査結果の比較. 第 36 回金沢医科大学眼科研究会; 2016 Nov 13; 金沢.
- 23) 宮腰晃央, 上野智浩, 仁井見英樹, 柳沢秀一郎, 北島 勲, 林 篤志. PCR を用いた眼内炎起炎菌の迅速同定法の確立. 第 75 回富山眼科集談会; 2016 Nov 23; 富山.
- 24) 柚木達也, 中村泰久, 林 篤志. 当院における眼窩壁骨折の治療について. 第 75 回富山眼科集談会; 2016 Nov 23; 富山.
- 25) 阿部慎也, 宮腰晃央, 林 篤志. 血管内 t-PA 注入術により視力が改善した網膜中心動脈閉塞症の一例. 第 75 回富山眼科集談会; 2016 Nov 23; 富山.
- 26) 入江真理, 堀 恵一, 柴垣幸子, 今井睦人, 高島 豊, 狩野俊哉, 林 篤志, 迫分俊彦. 富山県版スマート運用に向けて. 第 75 回富山眼科集談会; 2016 Nov 23; 富山.

- 27) 矢合隆昭, 中村友子, コンソルボ上田朋子, 柳沢秀一郎, 林 篤志. 近視性脈絡膜新生血管に対する抗 VEGF 療法前後の OCTA 所見. 第 55 回日本網膜硝子体学会総会 ; 2016 Dec 2-4 ; 東京.
- 28) 阿部慎也, 中村友子, 岩佐芳夫, 加藤 剛, 林 篤志. 再発中心性漿液性脈絡網膜症に対するエプレレノン内服の検討. 第 55 回日本網膜硝子体学会総会 ; 2016 Dec 2-4 ; 東京.
- 29) コンソルボ上田朋子, 尾崎真由美, 中村友子, 矢合隆昭, 柳沢秀一郎, 阿部慎也, 林 篤志. 血管内皮機能障害と加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 薬の投与頻. 第 70 回日本臨床眼科学会 ; 2016 Dec 3-6 ; 京都.
- 30) コンソルボ上田朋子, 尾崎真由美, 中村友子, 矢合隆昭, 柳沢秀一郎, 阿部慎也, 林 篤志. 血管内皮機能障害と加齢黄斑変性に対する抗 VEGF 薬の投与頻度. 第 338 回金沢眼科集談会 ; 2016 Dec 18 ; 金沢.

◆ **その他**

- 1) 林 篤志. 緑内障早期なら点眼薬. 読賣新聞 (13 版, 朝刊). 2016 Apr 4 : 3 地域 : 24.
- 2) 林 篤志. 論点. 眼科手術. 2016 Apr ; 29(2) : 205.
- 3) 林 篤志. 巻頭言 一眼科診療と手術の将来は? -. 眼科手術. 2016 Oct ; 29(24) : 539.
- 4) 林 篤志. 論点. 眼科手術. 2016 Oct ; 29(4) : 575.
- 5) 柚木達也. がん温熱療法における BAG3 の役割とその関連分子の同定. Toyama Science GALA 2016 ; 2016 Sep 30 ; 富山.
- 6) Hayashi A. 2016 Honor Award Recipients based on contributions through 2016 (San Francisco) meeting. American Society of Retina Specilallsts.